

## マーケットの動き（2026年3月2日～3月6日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

前週末の米国とイスラエルによるイラン攻撃を受けて原油価格が高騰し、世界景気の減速懸念から幅広い銘柄に売りが広がりました。週末にかけては、自律反発狙いの買いが優勢となったほか、中東情勢を巡る警戒感が一時的に和らいだこともあり、株価は下落幅を縮めて週を終えました。

## 投資環境見通し（2026年3月）

## 国内株式相場は底堅い動き

企業業績については、米国関税政策の影響から輸出関連では厳しい面があるものの、価格転嫁が進んでいることもあり、全般的には堅調とみています。

衆議院議員選挙を通過し、強固な政権基盤の下で中長期的にバランスのとれた政策運営が行われるとの見方が広がっています。国内株式相場は、当面はこれまでの上昇相場から変動率が高まり、中東情勢の緊迫化は重しとなる可能性があります。足元の企業業績を背景に、次第に底堅く推移するとみています。

	3月6日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	3,716.93	▲5.63%	0.48%	19.70%	35.09%
日経平均株価	55,620.84	▲5.49%	2.52%	29.29%	47.52%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

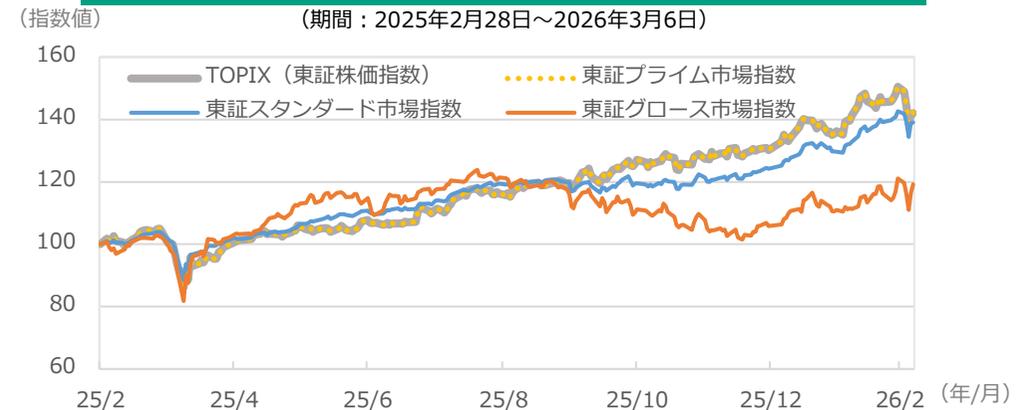
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202603\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202603_outlook.pdf)

## 日経平均株価、TOPIXの推移



## 東証市場別指数の推移



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>